

豊かで 住みよい 町づくり

議会だより



上 勝

かみかつ

12月定例会

VoL. **28** 2008. 2.1 発行

- 12月定例会 ——— 2 ▶ 3
- 一般質問 ——— 4 ▶ 6
- 新旧議長挨拶 — 7
- 新議員の挨拶 — 8 ▶ 9
- 臨時会・委員会構成 ——— 10
- 議会の動き ——— 11
- 写真で紹介
- まちのようす・編集後記 — 12



◆ 一般会計補正予算 ◆

(補正額) **2,434万7千円**
 (総額) **26億1,638万3千円**

◆ 特別会計補正予算 ◆

(診療施設勘定)

(補正額) **40万円**
 (総額) **2億141万5千円**

第4回定例会

会期 5日
 開会 平成19年12月3日
 閉会 平成19年12月7日

第1日

笠松町長から提案理由説明後、
 条例改正議案(6件)、一般会計
 補正予算、特別会計補正予算、補
 正予算議案(2件)、町道路線の
 認定、神田中央線・立川福川線、
 人権擁護委員の推薦・認定など(2
 件)が上程された。

第2日

3議員が一般質問した。

第3日

条例改正(6件)、補正予算(2
 件)認定(2件)、原案どおり可
 決した。
 議員発議による意見書、2件可
 決した。

その他、紹介議員による請願8
 件の内1件を採択した。



神田中央線起点付近



立川福川線起点付近



上榎原線舗装工事

12月定例会の一般質問には
3人が質問しました。

一般質問

町政を問う

行政取り組みの 成果と問題点は



美木 章 議員

行政運営は

問 町長は1期と2期半ばまで真・善・美を政治信条とし、持続可能な地域社会作りに取り組んでいるが、若者定住、産業振興について成果と問題点はどうか。

答 町長 若者定住住宅政策は、若者のUターン者を迎える住宅政策を優先課題として取り組み、多くの方に利用して頂いている。今後、財源と空き家利用が課題である。
青年男女のふれあいの場作りは今全国各地で取り組まれている。本町で

は教育委員会で検討しているが、まだ取り組む方法は出来ていない。情報化社会への対応については、基盤整備は出来た。これをどう生かすかが今後の課題である。子育て支援については保育事業から学童保育等までやってきた。学童保育は6年まで受け入れてきているが、運動場や体育館がないなど場所的な問題医療費の無料化の問題がある。

産業振興については、農林業の振興は、今、独自に取り組まれているが、頑張っている人、後継者を支援する体制作りが一番大きな課題である。

森林農地の適正管理については、昨年2人で30haの間伐をやっているが、4〜7月の間は間伐がなく、農業とのかみ合わせ

が出来ていないのが課題である。
第3セクターの健全運営については、現在130名の雇用をしており内3分の2が町内からの通勤である。経営力がある人材確保と経営改革が課題である。
彩産業については高齢者の方が頑張っていて頂いて順調に伸びており、よい循環に回っている。後継者の育成が課題である。鳥獣害については、対応できていない。来年度国のモデル事業に応募したい。



国民文化祭の総決算は

問 里山の彩生を図る目的の第一段階は達成できたか。

答 町長 人口2,000人の町で延べ3,000人を超える住民に参画いただいた。又コミュニケーションもはかられた。

問 総事業費の額および町費、補助金の財源内訳はどうか。

答 産業課長 精算中であるが、当初予算2,992万円に対し600万円位安くなる見通し。

問 東京PRの効果はあったか。
答 産業課長 シンポジウムは盛会であり情報発信はできた。

若者定住と高齢者 高負担の問題

問

若者定住の町において、子育て支援、山里教育促進のため、小学校卒業まで医療費を無料化してはどうか。

答 町長

次期議会で具体的に提案する。6年卒業まで無料化するに要する費用は年額約440万円である。

後期高齢者の問題

問

75歳以上のお年寄りを広域連合へ「うば捨て」する後期高齢者医療制度は矛盾が多い。凍結・撤廃すべきではないか。

答 町長

この制度はスケールメリットを考えている。財源の準備が着々と進んでいる。反対運動を起こすことはできない。

問

何名が広域へ移されるか。

答 町長

約430名だ。

問

今まで保険料が要らなかつた人で何名が新たに徴収されるか。

答 町長

330名程度である。

問

年金収入の税額は

年金収入別の税額は表の通りである。
(月額) 所得割率 7.43% 均等割額 40,774円

年金額	120万円	160万円	200万円	240万円	300万円
所得割額(A)	0	5,201	34,921	64,641	109,221
均等割額(B)	12,232	12,232	32,619	40,774	40,774
保険税総額(A+B)	12,200	17,400	67,500	105,400	149,900

不法ゴミ処理、その責任は

問

月ヶ谷温泉と健祥会が不法にゴミを排出していた。いくら聞かからずに処理されたか。

答 町長

車に何車に出していた。正確にはわからない。

マニフェスト(送付状)はどうしたか、提出してもらいたい。

答 町長

無いと言っている。

問

廃掃法に定める一般廃棄物処理計画を作成して管理しておればこんなことにはならなかった。

答 町長

作成はしているのだが。

問

町民は宮々としてゴミ分別し、減量に協力している。その顔に泥を塗るものだ。

答 町長

反省している。

テレビ・インターネットの問題

若者が家を建てて光ファイバーを申し込んだら17万円要求された。早くも高騰している。

答 町長

勝浦町と共にNTTと話し合った。14万7,500円でよいことになった。

問

高い！町営アパート入居の際は1万2,000円、当初加入

問

医者は反対していると議長は言った。現職の町長、議長は権威を利用して住民を勧誘している。本当に効くのか。

答 町長

効くかどうか試してもらいたい。

問

元笠松和市後援会事務所の建物と土地を提供しているが、有償か無償か。

答 町長

無償だ。儲かっていないようだ。

明本 恵一 議員



藤田欣宏 議員

4年間の思い

若者定住策の住宅より

問 町営住宅は何棟、何室あるか。空室は？

答 町長 現在15棟あり、世帯と単身と合わせて65室ある。空室は7室である。

問 利用頻度はどうか？

答 町長 入居人数は130人で、8割を目安にしているが想定よりはいいと思う。

問 定住策の一つとして、宅地の提供も必要と思うが。

答 町長 企業、不動産業者は入って来ないので、町がするか、第3セクター等であるか今後具体的に検討する。

美しい村連合より

問 上勝町のメリットと思われることは何か？活用していないのでは。

答 町長 町民に広報でお知らせした程度であった。美しい村連合のマークを使って農産物の有利販売できるように住民、産業界関係者に周知を徹底したい。

問 来年度、美しい村連合の総会を上勝町で開催するの？その内容は。

答 町長 総会の第1回目は北海道、2回目九州の南小国町。今年が長野県の大鹿村。20年が上勝町で順番が回ってきている。上勝町の景観、森林管理、鳥獣被害、荒廃しているところ、ありのままの姿を見ていただきたい。内容については具体案ができていない。

問 来年度の活用方法はどのように考えているか。

答 町長 月ヶ谷温泉のツア―企画、県内の中学や高校・大学の先生にPRし教育にも活用していただく。

問 作品製作に当たり、町民の皆様にはボランティア作業をお願いしたが、このままでよいのか。

答 町長 検討し、お金のかららない方法で気持ちや伝え、労をねぎらえることを考える。

町内の橋梁より

問 町内に橋はいくらあるか。

答 建設課長 町道は188橋、内歩道橋が33橋、吊橋が6橋、歩道

問 橋の33橋の内3橋は吊橋である。林道は10橋、農道は7橋、全体で205橋。県道については24橋です。

答 建設課長 目視程度の調査で15橋が一部補修等対策が必要箇所を発見した。かけかえが必要な橋は見つからなかった。本年度以降精密な調査はしていく。



議長就任あいさつ



上勝町議会議長
西浦光信

平成20年の新春を迎え、心をこめてお慶び申し上げます。さて、不肖わたたくし、1月臨時議会におきまして議員皆様方のご推挙により議長の重責を賜りました。もともと、そんな器でないだけにその職務の重さを身を持って感じております。

今期より議員定数も2名削減の8名となり、一人一人にかかる責も重くなります。上勝町は今、行財政・合併問題、避けて通れない限界集落への対応等々についても、町民皆様のお知恵をいただきながら前進努力を重ねなくてはなりません。今後とも尚一層のご指導ご支援をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

議長退任あいさつ



前上勝町議会議長
高橋貞雄

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様のご健勝とご多幸をお祈り致します。平成18年6月29日、議長就任以来1年6ヶ月、この間議員をはじめ、理事者、町民の皆様から頂いた暖かいご指導ご支援により、大過なく議長職を全うする事ができました。心よりお礼を申し上げます。

新しい議長・議員の皆様、当選おめでとうございます。ご活躍を期待いたします。顧みますと、国民文化祭「上勝アートプロジェクト里山の彩生」は5地区で皆様のご協力により、見事な作品が完成し、大変好評を博しました。今後の活用が課題となります。10月にはマイクロソフト社とICT利活用の覚書を締結しました。又、「日本でもっと美しい村」連合の総会が、上勝町で開催され、町の発展が期待されます。いっきゅうと彩の里かみかつの益々の躍進を、町民皆様と共に祈念申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。最後にりましたが、16年間ご指導ご支援を頂きありがとうございました。

抱負

明日の上勝づくり 決意も新たに



渡部厚子
議員

新しく選んで頂きました40年ぶりの女性議員です。「女性が入るとひと味違うわ」と言ってもらえるように、しっかり活動したいと思えます。

さて地球温暖化をはじめ、世界中に問題が山積の中、小さな小さな町の住民はどのように生きていけばよいのでしょうか。私たちに何ができるでしょう。

いろいろ産業、ゼロ・ウェイスト宣言、上勝町は世界中から注目されています。弱小な町でも時になかったこと、正しいことをすれば、世界中に影響を与えられることを私達は知っています。

どうです、温暖化防止のために一肌脱ごうじゃないですか。解決策は「そりゃとんでも無理だ。」と言われる領域に潜んでいます。

上勝町はいろいろどり、ゼロ・ウェイストと、無理を実現してみせました。智恵を寄せ合い、汗を流しあつて上勝町から世界を良くしていきましょう。



鹿島國男
議員

新年明けましておめでとうございませう。謹んで皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

昨年の町議会議員選挙で多くの皆様のご支援で議員の仲間入りをさせていただきました。鹿島國男です。簡単に自己紹介をいたします。昭和28年3月1日生まれ、B型、魚座です。

上勝町に生まれて良かった、上勝に住んで良かった、上勝に帰ってきて良かったと思えるような町にしたい。

時の流れの早い都会もいいけれど、ゆつくり時の過ぎ行く田舎暮らしもこの豊かではないではないでしょうか。

怪我をしたり病気になるたびに都会のようにたらい回しにされない田舎の赤髭先生のいる町、かかりつけの診療所。空気も水もおいしい町、上勝の四季も美しく温泉もある（入浴の年間パスポートがあればもっといいけど）

季節限定ではなく、キンキサインのように年間フル稼働する加工所（徳島でここだけという千年の森のミネラルウォーターや上勝の番茶のペットボトルの製品を作る）加工所を作りたい。遊休地の増えつつある町、猪や鹿、鳥、猿のいる町、でもみんな元気だ。住民の皆さんの知恵と声を大切に信念と情熱で一生懸命取り組みます。



片山文昭
議員

新春を迎えお慶びを申し上げます。12月の町議選挙におきましては、多数の皆様方よりご支援を賜り、初当選することが出来ました。そして責任の重大さを痛感しております。

今、国・県・町村の財政状況が非常に厳しいときであります。しかし上勝町は厳しい財政の中、美しく豊かで住みよい町づくりのため努力しておりますが、環境・少子高齢化・若者定住・福祉等、課題が山積しております。この厳しい状況の中でも町民皆様方が少しでも、上勝町に住んでいて良かったと実感出来る町づくりのため最大限の努力をして参りますので、今まで以上のご指導ご鞭撻をお願いします。

町民皆様方のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶と致します。

多田和幸



藤田欣宏
議員

新年を迎え、決意を新たにしてお過ごしのこととお喜び申し上げます。4年前に議会へお送りくださり、

ご指導ご教授を賜りましたこと、厚くお礼を申し上げます。そして、12月に再度町議会議員席をお与えいただき責任の重大さを痛感しております。

「いつきゅうと彩の町上勝」も鳥獣による被害、急傾斜地や人手不足そして農作物の価格不安定による耕作放棄地の増大、緊急医療、子供の教育、第3セクター等々、諸問題が山積しています。住んで良かったと思う町上勝、子や孫に誇りをもってリレーが出来る町上勝、町づくりで視察者が来る町上勝へ。

活力ある町づくりに町民の皆様方と共に一生懸命努めてまいります。今まで以上のご指導とご協力をお願い申し上げます。皆様のご健康ご多幸をお祈りいたします。



阪松明義
議員

今年7日は旧正月です。昔の行事が年とともに忘れられていく事が心に残ります。年末には町民皆様からいただいた生の声を基に、町政に取り組んでいきたいと思っております。

三位一体改革により、交付税の減少等で本町にも多方面に影響が出ており、公共事業費減少で建設業関連での落ち込みが、町民の方の生活に不安を与えております。今後の仕事の確保が重要と考えております。

新春のおよろこびを申し上げます。定数がまた2つ減となり、私たちが議員の責任はまた一段と重くなりました。

上勝町は超有名な町となり人の出入りも、情報の洪水も大変なものであります。何が真実で、何が虚偽なのか。政策判断も大変難しくなりました。しかし、私の判断基準は至って単純です。それは「住民こそ主人公」の立場です。今までも、これからもこの立場です。

国政は行き詰まりひっそく状態です。格差は拡大し、貧富の差は益々ひどくなるばかりです。当町でも、インターネットしない人から接続料を取るなど、不公正がまかり通っております。高齢者医療保険制度により高齢者イジメも国・地方あげて行われています。今年も全力を挙げてこれら具体的な問題解決に取り組みます。力を合わせて上勝町を住みよい元気な町にしたいと考えています。皆様のご鞭撻をお願い申し上げます。



明本恵一
議員

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年末の議員選挙において、引き続き議会活動をさせて頂く機会を与えて下さり、責務の重さを痛感しております。今までの経験をふまえ、反省すべき所は改め、足りない所は補い、より充実した議員活動が送れるよう、決意を新たに努力するつもりであります。

今、上勝町は少子高齢化、地方交付税の削減による財源不足、厳しい経営をしている第3セクター等々、山積する町政課題を抱え、笠松町長は常に新たな事に取り組まれる中、JAと町の関係など議会はもとより8人の議員となった今、責務は重大となりました。

今、上勝町は少子高齢化、地方交付税の削減による財源不足、厳しい経営をしている第3セクター等々、山積する町政課題を抱え、笠松町長は常に新たな事に取り組まれる中、JAと町の関係など議会はもとより8人の議員となった今、責務は重大となりました。

今、上勝町は少子高齢化、地方交付税の削減による財源不足、厳しい経営をしている第3セクター等々、山積する町政課題を抱え、笠松町長は常に新たな事に取り組まれる中、JAと町の関係など議会はもとより8人の議員となった今、責務は重大となりました。



多田和幸
議員

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年末の議員選挙において、引き続き議会活動をさせて頂く機会を与えて下さり、責務の重さを痛感しております。今までの経験をふまえ、反省すべき所は改め、足りない所は補い、より充実した議員活動が送れるよう、決意を新たに努力するつもりであります。

今、上勝町は少子高齢化、地方交付税の削減による財源不足、厳しい経営をしている第3セクター等々、山積する町政課題を抱え、笠松町長は常に新たな事に取り組まれる中、JAと町の関係など議会はもとより8人の議員となった今、責務は重大となりました。

今、上勝町は少子高齢化、地方交付税の削減による財源不足、厳しい経営をしている第3セクター等々、山積する町政課題を抱え、笠松町長は常に新たな事に取り組まれる中、JAと町の関係など議会はもとより8人の議員となった今、責務は重大となりました。

今、上勝町は少子高齢化、地方交付税の削減による財源不足、厳しい経営をしている第3セクター等々、山積する町政課題を抱え、笠松町長は常に新たな事に取り組まれる中、JAと町の関係など議会はもとより8人の議員となった今、責務は重大となりました。



平成20年 第1回 臨時議会

会期：1日 開会：平成20年1月10日

議長に西浦光信氏

― 議員8人の委員会構成など決まる ―

― 市町村合併研究調査特別委員会 議会広報調査特別委員会の設置 ―

本臨時会は、議員定数10名から8名に減員しての初議会です。
年長議員の明本恵一議員が臨時議長を務め、議長選挙を投票により行い、西浦光信氏が新議長になりました。
西浦新議長のもと、副議長の選挙、常任委員、議会運営委員の選任、特別委員会の設置を行いました。
町長から、新町営住宅の建設に伴い、上勝町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例、上勝町単独住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例【条例改正案3件】の提案があり、審議の結果、原案通り可決しました。
議員改選に伴い、監査委員の選任（阪松明義議員）につき同意を求めることについて提案があり、原案通り同意し閉会しました。



上勝町議会委員会等構成

(平成20年1月10日現在)

議長	西浦光信	副議長	藤田欣宏
● 議会運営委員会			
委員長	多田和幸	副委員長	阪松明義
委員	鹿島國男		
● 総務常任委員会			
委員長	阪松明義	副委員長	片山文昭
委員	明本恵一	西浦光信	
● 産業建設常任委員会			
委員長	鹿島國男	副委員長	渡部厚子
委員	多田和幸	藤田欣宏	
● 市町村合併研究調査特別委員会			
委員長	多田和幸	副委員長	阪松明義
委員	明本恵一	西浦光信	藤田欣宏
委員	片山文昭	鹿島國男	渡部厚子
● 議会広報調査特別委員会			
委員長	藤田欣宏	副委員長	片山文昭
委員	阪松明義	鹿島國男	渡部厚子
● 小松島市外三町村衛生組合議会議員			
議員	西浦光信		
● 議会選出監査委員			
委員	阪松明義		

議会の動き

10月

- 5日 町内産業視察（国文祭作品、林道維持管理・開設状況、他）
- 9日 議会広報調査特別委員会（議会だより編集）
- 10日 四国地区議長会研修（鳴門市）
- 18日 議会広報調査特別委員会（議会だより編集）
- 22日 議会広報調査特別委員会（議会だより編集）
- 26日 議会広報調査特別委員会（議会だより編集）
産業建設常任委員会（請願審議、他）

11月

- 21日 議会運営委員会（第4回定例会日程、他）
- 22日 議会全員協議会（町営住宅建設、条例改正について、他）
- 26日 議会全員協議会（地域集会所、ゆこう加工所について、他）
- 29～30日 議長会全国大会（東京都）

12月

- 1日 勝名議長会研修（東京都）
- 3日 第4回定例会第1日（開会、提案、他）
議会町内視察（町営住宅建設現場〔正木〕）
- 5日 県議長会役員会（徳島市）
- 6日 第4回定例会第2日（一般質問、他）
- 7日 第4回定例会第3日（審議・採決、他）
- 16日 町議会議員選挙
- 22日 彩保育園クリスマス会
- 23日 駅伝結団式（勝浦町福祉センター）

1月

- 2日 成人式（高鉾公民館）
- 4日 消防出初め式（上勝小学校）
- 6日 駅伝解団式（勝浦町福祉センター）
- 7日 初議会前、議員懇談会（役場本庁）
- 10日 第1回臨時会（議長・副議長の選挙、委員会構成、他）

写真で紹介 まちのようす



旭MAP設置 旭1Q



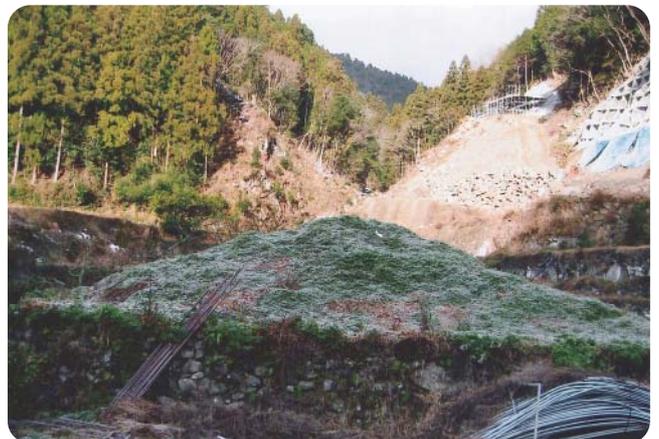
県道改良工事（藤川側）



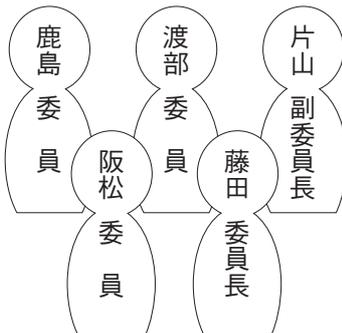
トボス彩看板設置 生実1Q



伝統料理の講習会 福原1Q



榎原谷通常砂防工事



議会広報調査特別委員会

平成20年の幕が明け早や一カ月が過ぎました。議会広報誌（議会だより上勝）も平成13年3月議会より創刊され28号となりました。

議会だよりも町民の皆様方に読みやすくそして親しみやすくをモットーに、議会の内容等を正確に公表してまいりました。

また12月の町議会選挙により新たに3名の方が加わり、新鮮な角度より、より充実した広報づくりに努めてまいります。

今後共、町民皆様方のご指導ご意見をお願い申し上げます。今年一年のご健康とご多幸をお祈りいたします。

（藤田）

編集後記